

おあしす



特定医療法人 **南山会**

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2017

8

第31巻8号
(通巻360号)



暑いときには涼しげな写真と思ったが、昔から暑い時にこそ熱いお茶を飲むと良いと言われていることを思い出し、私が訪れた世界で一番暑く熱い土地の写真を載せることにした。エチオピアとジブチにまたがるダナキル沙漠だ。アフリカ大地溝帯という地球の割れ目の底に位置していて、標高は海面より低いマイナス100メートル。北緯10度の熱帯の太陽が温めた大気は穴の底にたまったまま動かず、薄い地殻を通してマグマの熱が下から地面を温め、まさに地獄の釜ゆで状態。地面が黄色いのは地中から熱気とともに噴き出す硫黄が原因。近くに岩塩を採掘する人たちの部落があったが、夏には気温が50℃近くになることがあり、人類が住んでいる最も暑い場所としてギネス記録に登録されている。



峡西病院の理念

「その人らしさ100%」

峡西病院の方針

1
説明と納得の
医療

2
多職種の連携

3
「こころよさ」の追求

4
社会参加の推進

第42回 日本精神科学術集会 in 岡山
〜当院リスタート病棟 慶野進看護師が研究発表〜

平成29年6月16日〜18日、岡山県にて開催された第42回日本精神科学術集会に参加しました。今回は発表者としてリスタート病棟で取り組んだ「攻撃性の顕著な認知症患者に個人回想法を行った1症例」というテーマの研究を発表しました。他の認知症ケアの演題ではユマニチュードやBPSDの軽減に向けた関わり、オムツの皮膚トラブルに関する研究発表などもありました。

今回、認知症ケアの演題を中心に参加してみて感じたことは、全国的なケアの水準と当院を比較しても当院のケアの水準は決して劣っていないということでした。学術集会へ参加したことで全国的なケアの水準を

知ることができたこと、全国大会の舞台で発表ができたことは、大きな経験になったと思います。
最後に、看護研究は本当に大変でしたが岡山県に行く機会は研究を行っていただければなかったと思うので、美味しいものもたくさん食べられたし、頑張った甲斐があったと思います。

リスタート病棟 慶野 進



地域に根ざした活動の試み
「他人ごとではない認知症」をテーマに講演をして〜

当院は、精神科の単科病院ということもあり近隣の地域住民との交流は多くはありません。そこで地域に根ざす病院として6月10日、レクリエーション委員会主催の「地域ふれあい祭り」を開催することになりました。講演の話がでて、外来看護師としてなにか手伝いができないかと思い『他人ごとではない認知症』というテーマで講演することになりました。

私がまだ外来看護師として日が浅い頃に、ある老夫婦が外来に来院したことがありました。妻は顔がはれ上がり、アザだらけでハンカチで顔を覆い「助けてください」と悲痛な表情で訴えていました。夫はこぶしを振るう勢いで、すでに認知症の進行がみられており、自分の妻の認知症ができないことで、畑から帰ってきた妻を泥棒と思い暴力を振るったというのです。「もつと早く何とかならなかったのか」と悔やまれたことが私の心の中に深く突き刺さっていました。このような不幸なことが二度と起こらないようにするにはどうしたらよいか、認知症の初期段階で受診してもらえぬ手段はないか…と思います、今回のお話をさせて頂いた経緯もありました。

講演は約40分で内容は、
・加齢による単なる物忘れと認知症の違い



外来看護師 武富 文美子

認知症の種類・症状
・認知症に成りやすい人・予防
・生活不活発にならない
・京都丹後町の取り組み（人口減少と共にタクシー業界が撤退になり、町の住民が立ち上がった事例）です。
高齢者や一般の方々にも分かりやすい構成としました。
「分かりやすくよかったです」
「もっと沢山の人達に知ってもらわないともったいない」
など地域の方からお言葉をいただいたことを励みに、今後も啓蒙活動をしていこうと思っています。

平成28年度 目標管理発表会



最優秀賞
リスタート病棟
保坂 みゆき

設定した目標

長時間使用していても尿漏れや皮膚疾患にならないような、患者様1人ひとりに合ったオムツ（パット）を選択し、オムツの使用量を10%減らす

目標設定の理由

これまでは日中尿量が多い患者様に吸収量の多い夜パットを使用し、夜間は夜パットを2〜3枚重ねて対応していた。ムレ等による皮膚の発赤やただれなど、皮膚の状態が悪い患者様があった。このようなことから、患者様の皮膚状態や睡眠妨害の改善、スタッフの夜の仕事の負担を軽減させるためにオムツの見直しをしたいと思います。見直すことによりコスト面も削減できるのではないかと考えた。

行動計画

- ① 複数メーカーよりパットの試供品を貰い、患者様に使用する
- ② スタッフにアンケートを実施し、評価する
- ③ オムツの当て方の勉強会を行う
- ④ 患者様のパット使用量をチェックし実施する
- ⑤ 評価・まとめ

実施1

オムツのメーカーを数社選んで説明を聞き、尿取り・テープ式オムツを尿量の多い患者様に使用した。「オムツ評価表」を作成し、排泄介助をする時間と使用するパットの種類を変更しながら、一週間ごと漏れの有無、皮膚疾患の有無を記入してもらった。

実施2

各社製品の成功率を一覧表にし、職員全員に導入したいオムツを選択してもらった。

結果1

全患者様に決まったパットを使用すると、昼用パットの背面がビニール製であることにより、通気性が悪く患者様5名にオムツかぶれが生じた。また、パットが短いため皮膚にあたり表皮剥離となった。尿漏れについては、パットのみの使用で行うと漏れが生じた。オムツのメーカーに依頼し当て方の指導を受けた。患者様1人ひとりに合った当て方を徹底した。

結果2

再度オムツ評価表を使用し、オムツのパットの検討を行なった。その結果、表皮剥離やオムツかぶれがなくなり、尿漏れについても両面シートを使用することにより防ぐことができた。患者様に不快感を与えることなく、なおかつスタッフの夜の仕事の負担を軽減させることができた。

病棟でオムツの当て方の勉強会を開いた。スタッフに新しいパットに吸収量分の水を含ませた状態を見てもらったり、手で触ったり確認してもらいながら、通気性や逆もどりが無いことなどを確認した。

今までの重ね当てをなくすることも徹底した。前年度のオムツの枚数と今年度のオムツの枚数の差は100枚であった。一枚当たりの単価は、30円〜60円の減額になった。

まとめ

一人ひとりのオムツの使用量も減り、38.1%のコスト削減に繋がった。快適さの向上とコスト削減を達成することができた。

開始当初は新しい取り組みに慣れず、不安な声や思いがあったが、スタッフ全員で関わることで解消していくことができた。また、老健スタッフと合同勉強会を開いて意見交換を行ったことも不安の解消に繋がった。

業者の実践的な指導を受けることでオムツに対し新たな知識を学ぶことができた。

今後も勉強会を行いながら、より良い介護が出来るように連携を図って行きたいと思う。



ナレオハワイアンズ コンサート



7月15日(土) OTホールにてナレオハワイアンズコンサートが開催されました。ハワイアンミュージックを中心に活動されている皆さんで、おそろいのアロハシャツ・ウクレレやハワイアンギターの音色は、私たちに、夏が来た事を知らせてくれました。懐メロやムード歌謡を交えて予定の16曲に加えて、会場の一フラダンスを踊りたいとの希望に応えたのと、アンコール曲とで計18曲を披露してくださいました。



OTだより

涼みソーメン

7月13日(木) OTホールにて夏の風物詩「涼みソーメン会」が行われました。連日の暑さの中、芝生広場で行われる予定でしたが、天候が怪しい為室内にセットしました。涼しげに流れるソーメンの「涼」を感じる前に上手にキャッチし、フランクフルトに悪戦苦闘しながら「満腹」を感じました。



セタゲーム大会



7月5日(水) セタゲーム大会が開催されました。開始時間9時半には大勢の方が開場を待っていました。射的では久しぶりなため練習を勧めたのですが、皆さんすぐ本番に入り、自分の欲しい品のを上手に打ち落としていました。グランドゴルフでは練習の成果もあり、ポールに向かって真っ直ぐ打つことが出来腕を上げて来ました。他にじゃんけん相撲、ピンポールを楽しんだ後、ところてんを食べ、夏の始まりを感じました。皆さんがいつまでも元気で、夏を吹き飛ばし続けられることを願います。



デイケア Channel チャンネル



今月のデイケア活動紹介

〈プログラム名〉 文芸グループ

〈活動日〉 木曜日 月1回

〈活動内容〉

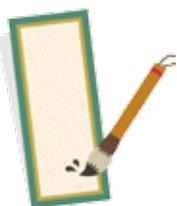
俳句を中心とした作品作りを行っています。作った句を広報誌「おあしす」に投稿し、不定期ではありますが一般のコラステストなどにも応募しています。また最近では講師をお招きし、俳句について基礎から教えて頂いています。

〈参加者の声〉

- ・ 講師の指導で俳句の事が少しわかるようになってきました。
- ・ もっと勉強したいです。日々俳句の事を考えています。
- ・ 難しくてなかなか結果は出せないけど毎回楽しみです。

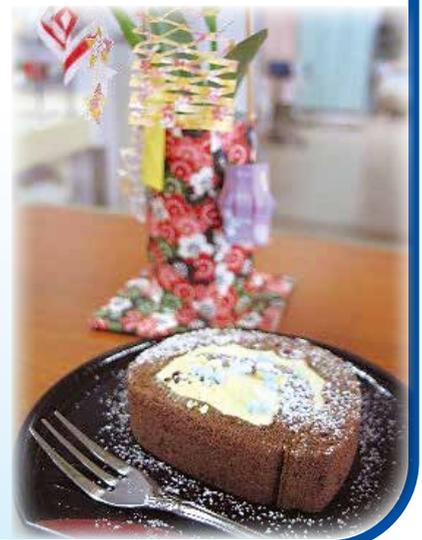
〈問い合わせ〉

興味がある方や参加希望の方はお近くのスタッフまでお知らせください。その後デイケアスタッフがご案内致します。



ろうけん Times★

7月7日七夕の日。老健の利用者はたくさんのお願い事をしました。健康のこと、食べ物のこと等いろいろな願い事がありました。皆願い事は叶ったのかな？彦星と織姫も参加され、楽しい七夕会となりました。おいしいおやつもたくさん食べられました。



健康情報コーナー

アルプス訪問看護ステーションの紹介

今回は、南山会の訪問看護事業所「アルプス訪問看護ステーション」について看護師の細田幸香所長にお聞きしました。

Q. アルプス訪問看護ステーションに所属しているメンバーを教えてください。

看護師：8名 作業療法士：1名 事務：1名 の10名です。

Q. どのような方が利用していますか。

再入院を繰り返したり、独居の方、家族と一緒に住んでいるけど、家族との生活がうまくいかない人などが対象となっています。

退院後のフォロー、外来の方でも相談に乗ったりと患者様が困っていること、やりたいことがあったりと考えている方の希望を同伴者として支えていけたらと思っています。

細田所長からひとこと！

今後、在宅での生活も『夢・希望』を一緒に考えていけたらと思っています。
24時間体制で活動しているので、患者様の困ったことに早めの対応ができるので、患者様にとって、安心感やお守り代わりになればと思います。

アルプス訪問看護ステーション

●所在地 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421 (峡西病院如春館2階)

●営業日・営業時間 【月～金】9時～17時 【土曜日】9時～12時15分

【休業日】日曜、祝祭日、年末年始

●利用のご相談・お問い合わせ

TEL：055-244-7716 (直通) FAX：055-282-1853 (直通)

<http://www.nan-zan.or.jp/gaiyou/alps.html>

詳しくはこちらのページを
ご覧ください



◆趣味：カラオケ
◆好きな食べ物：パン
◆好きな言葉：思いやり



山本 かね子
調理員
(栄養課)

新
入
社
員
紹
介

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

私が好きになるものはいつも、「渋いね」と周りから言われます。特に音楽は、自分の年頃に似合わない曲を聴いたり、歌手を好きになる事が多いかもしれませぬ。

私の「渋好み」が始まったのは、中学生の頃。ブルーハーツにハマリ、青春時代は80年代バンドブームと共に過ごしました。一方、高校生になると、力強い発声の特徴の演歌歌手・島津亜矢さんのファンになりました。コンサートへも行き、客席を回ってくるご本人が、制服姿の私に驚きながら握手してくれたのは良い思い出です。大学時代は米米クラブが大好きでした。曲ももちろん良いのです

私の趣味

が、華やかなステージ、肩パットの入ったきらびやかな衣装…。何もかもカッコ良く、私にだけバブルが再来していました。

自分が生まれる前の曲を好きになることもしばしばです。私の知らない時代のことを音楽を通していつも教わります。そして、音楽を聴くと、当時の世界へ少しだけ連れていってもらった気持ちになるのです。

現在の私は、ゴダイゴとはつぴえんなどを聴きながら、70年代頃へのプチタイムスリップを楽しんでいます。

ディケア 八木澤 ひかり

万華鏡

「追っかけ」

子供の追っかけをして、もう何年経つでしょうか。追っかけとは、子供の部活。野球から始まり、現在は剣道。これも今年で終わりになってしまいます。楽しかったですよ。野球では、練習試合があるたび、県内外を一緒に行きました。夜勤明けでも平気でした。

大きい大会がある時は、数日前から、わくわくして持っていく物を準備

備していました。大会では、大きな声を張り上げたり、他の保護者と応援。勝った時は、保護者だけで祝いの会を夜にしたものです。今もその保護者の方々は、年に何回か食事会をしたりして交流が続いています。

野球も終わり、すぐに剣道の追っかけが始まりました。剣道でも同じく、県内外を一緒に行きました。練習の日は学校に行き、練習の様子を見ていたりしました。ただ野球との違いは、大きな声を張り上げて応援が出来ない事です。拍手、掛け声は出来ませんが、大きな声は出せません。だから初めは、慣れるまで少しストレスが溜まってしまいました。この剣道も、今年の6月インターハイ予選大会で、引退となってしまいます。

これで何年も続いた追っかけは、終わりになります。寂しいの一言しかありません。

次は何の追っかけをしようかと考えています。

次の追っかけが見つかるまで、受験・就活をしていく子供たちのサポートにまわろうかと思っています。

無事に来年、通学・就職が出来た時には、再び追っかけを探し、再開していこうと思っています。

また、その時のお話ができる機会があれば、お伝えしますね。

ブリエ病棟 主任 中込 琴子

「こちら編集室」

世のために

仕事をする意義には、基本的なものはいくつかあります。①報酬を得る②自己能力の発揮③他者の役に立つ、などがそうでしょう。この世の中で何を優先するかは、その人の生き様に通じます。

商いの世界には、古来より「三方よし」という言葉があります。商売人は「お客様のためによし」「世の中のためによし」「自分のためによし」のバランスを保つべきというのです。

お客様に喜ばれること、社会に貢献すること、其れが巡りめぐって自分の利益となつて返ってくるという教えです。世の中の役に立つことを商売の核として据える意識が、時代を超えた仕事の本質なのでしよう。

私たちは日頃、「貢献」という意識を強く持つことはありません。むしろ、報酬のための仕事と割り切っている人が、おそらく大半ではないでしょうか。

「世のため、人のために働く」という意識をもてるようになった時、職場人としての階段を一段昇ったといつていいでしょう。

今月の予定

8月

- 2日 褥瘡委員会議
NST委員会
- 3日 峡西老健運営会議
- 16日 認知症疾患医療センター準備委員会
広報委員会
教育委員会
- 21日 治療プログラム委員会
- 22日 LM委員会
- 28日 クリニカルパス委員会



今月の1枚



職員通用口に作られた巣の中で、ツバメの子が元気に口を開けてエサを待っています。写真を撮るのに夢中になっていると、空には飛び回る親ツバメの姿が…。子育ての邪魔をしてしまったようです。

南山会 夏祭り

8/26 (土)

今年のテーマは…

みんな集まれ！輪っしょい！夏まつい
～輝け楽山館 10周年記念へ突入GOING?～

昼の部 「夢浪漫」さん公演
患者さん参加のカラオケ大会
(楽山館 1階作業療法室)

夜の部 太鼓演奏「火男亀会」さん・「すもも劇団」さん
18:00～ 女性デュオ「CHITTA」さん出演 (外来駐車場)
※模擬店は夜の部から出店します

地域の皆様、関係者の皆様
ぜひご参加ください!



おあしす 広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

郭公かくこうに 帽子ぼうしななめの 朝の道
今福 和人

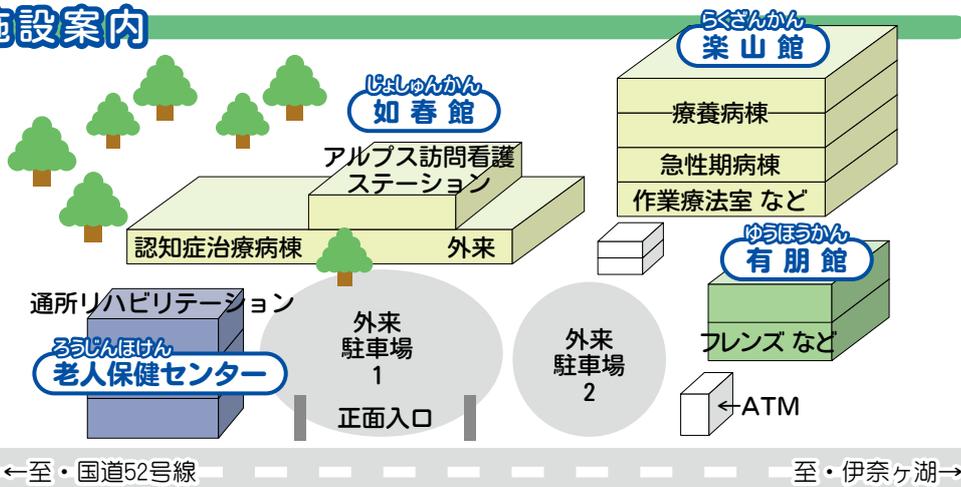
浜名湖の 一泊旅行の 思い出は カメラへ収め 満喫かなう

ひまわりに そよそよ暑い 風がふく

渡辺 あき 恵風

※掲載は五十音順です。

施設案内



交通案内

- JR中央線 甲府駅より車で40分
- JR身延線 東花輪駅より車で15分
- 中央高速 甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道 南アルプスICより車で5分
- 山交バス 甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第360号 1987/9/5創刊

発行所 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

若杉 雄司、齋藤 由布、坂本 幸廣、近藤 忠彦、
埜村 麻美、佐藤和加子、高根 綾、櫻井 千恵

次回361号も
お楽しみに!